

SASUE LIBRARY
町立
指江図書館
TEL0996-88-6500



日本滞在 25 年のアメリカ人が、幸せに遅く生きる集落の姿を紹介しています。

幸せに暮らす集落
ジェフリー・S・アイリツシュ 著

TAKANOSU LIBRARY
町立
鷹巣図書館
TEL0996-86-1111



しんかんくんシリーズ 8 作目。今回はいろんな電車が出てくるよ。

しんかんくん でんしゃのたび
のぶみ 作

町立図書館おすすめ

BOOK

図書館においてある本の中から
おすすめのことをピックアップ。
バラエティに富んだ本を紹介します。

Pick Up publication

長島
文芸

Nagashima Bungai
ながしまぶんげい

明神俳句会

おしろい花母に貫ひしちぢれ髪

ただ灼けて動かぬ遊具夏休

油照り古墳の沖ゆく定期船

島美人焼酎飲んで饒舌に

涼しさや昔井戸あり背戸屋風

白百合や戦後を語る人少な

山里の土の底から鉦叩

夏休み孫の宿題ほめちぎり

美術展行きませんかと秋初め

流木もどこを流れて残暑かな

雨乞の効果もあらず水飢饉

遠き日の親の教へや茄子の花

長島短歌会

朝早く亡夫の倒れし庭に立ち思ひ新たに枝ひき寄
する 吉田 映子

湯上りの胸元涼し夕暮の葛花匂ふ路を帰り来

満潮に名月を浮べ波揺るる海辺に中秋の光浴びを
り 市尾 操

秋の日に蜘蛛巣張りて輝けりかかる獲物も共に揺
れをり 岩下 ち江

雑木に這ひ上がりし葛こんもりと象の形なし風に
揺れをり 岩下 房代

揺れをり 樫平 頼子

船縁の高さに瀬波迫りたる球磨川に水棹操れる背

台風の去りし田の畦歩みたり彼岸花の蕾は筆立つ

ごとし 坂之下典子

三日ぶり畦道行けば不揃いに曼珠沙華の花茎数多

出でをり 中山タマエ

湾内に漁火近し久びさに遠くの友と会ひたる心地

車椅子の亡夫を婿が押しくれき今日花の道わが押

され行く 浜畑 松枝

慰問終へ家路を急ぐ道すがら踊れしひと日の幸せ

思ふ 林 ヒロ

鼻水の時に出づれば鼻血かと指に幾度も触れみる

吾は 本田 幸子

樹木に巻く凌霄かずら垂れ下がり陽に輝きて黄の

花揺るる 松元 睦子

一般作品

〔短歌〕

生垣を折れつつ行けば人絶えて時も止まりし麓武
家屋敷 平木 良雄

合る迄なつとくするや考へて世は成るなのよ間違

いなきや 町田 末則

百歳で祝う老女微笑みて命の経過うるわしく語り

天地 雪舞

〔俳句〕

明け来るやわがもの顔にチチ口啼く 宗方 清明